

お知らせ

市民の皆さんと共に、世界一元気な沼津に！

まちづくりの主役である市民の皆さんと本市全体の将来像を考え、世界一元気なまちづくりを推進します。

◆市民まちづくり会議

無作為に抽出した市民の皆さんによる将来のまちの姿を検討するワークショップを開催します。

とき ①7月9日(日) ②7月23日(日)
③8月6日(日) ④8月27日(日)
時間 ①14時～17時 ②～④13時～16時
ところ ①②プラサヴェルデ 402 会議室
③④市民文化センター第2練習室

傍聴 各20人程度(当日先着順)

ワークショップに先立ち、情報公開の場として市長講話を実施します。



とき 7月9日(日)、13時～13時40分
ところ プラサヴェルデ 402 会議室
定員 100人(当日先着順)

◆市長と語る会「元気な沼津！まちづくりトーク」各地区の開催日程

地区	とき	ところ	地区	とき	ところ	地区	とき	ところ
今沢	7/5(水)	今沢地区センター	大岡	8/1(火)	大岡地区センター	浮島	8/22(火)	浮島地区センター
戸田	7/12(水)	戸田地区センター	愛鷹	8/3(木)	愛鷹地区センター	金岡	8/29(火)	金岡地区センター
第一	7/14(金)	第一地区センター	静浦	8/8(火)	静浦地区センター	第五	9/1(金)	第五地区センター
原	7/18(火)	原地区センター	片浜	8/17(木)	片浜地区センター	大平	9/2(土)	大平地区センター
第三	7/19(水)	第三地区センター	門池	8/19(土)	門池地区センター	内浦	9/6(水)	内浦地区センター
西浦	7/21(金)	西浦地区センター	第二	8/21(月)	港湾区自治会館			

時間 いずれも19時～20時30分

定員 各50～100人程度

※当日、直接会場へどうぞ。

※駐車場に限りがありますので、公共交通機関等をご利用下さい。

※第四地区は5月31日(日)に開催しました。

市長戦略室

055-934-4705

お知らせ

沼津の夏の風物詩！沼津夏まつりを満喫しよう！

7月29日(土)、30日(日)に開催される第70回沼津夏まつりに参加して、一緒にまつりを盛り上げましょう。

◆夏まつりTシャツの販売

価格 1枚千円
色・素材 ブラック・ドライTシャツ
サイズ Mサイズ350枚、Lサイズ450枚、LLサイズ200枚
販売開始日 7月3日(月)
販売場所 沼津商工会議所、JR沼津駅南口観光案内所、沼津港観光案内所、戸田観光案内所、市役所2階広報広聴課

☎広報広聴課 ☎055-934-4703

◆「みこし」担ぎ手募集

とき 7月30日(日)、15時から
対象 16歳以上の人
申込方法 7月7日(金)までに電話で
☎沼津商工会議所 ☎055-921-1000
☎地域自治課 ☎055-934-4716

えっさ、えっさと活気溢れるみこし担ぎは、夏まつりに「参加する」という充実感をより感じることができそうです。男女問わず、沼津の暑い夏をもっと熱くしてくれる担ぎ手を募集します。

ブラック×オレンジで胸元に花火をあしらったデザインです！



お問い合わせは

各電話番号へ

お知らせ

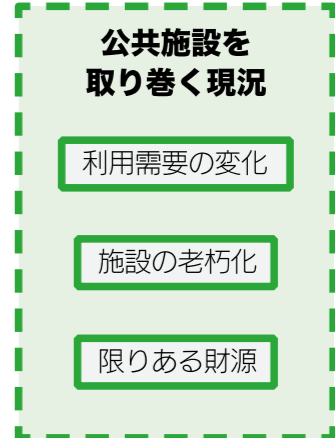
「沼津市公共施設マネジメント計画」を策定しました

将来の利用需要の変化に応じたより良い市民サービスを提供するための「沼津市公共施設マネジメント計画」を策定しました。

◆沼津市公共施設マネジメント計画とは

学校や市営住宅、道路、橋などの公共施設は、1970～80年代に整備したものが多く、耐用年数が近づき、これから一斉に大規模改修や更新の時期を迎えます。また、財源が限られていることや、人口減少や少子高齢化といった社会情勢の変化による利用需要の変化を踏まえ、公共施設の老朽化対策や施設総量の削減を図ることが課題となっています。

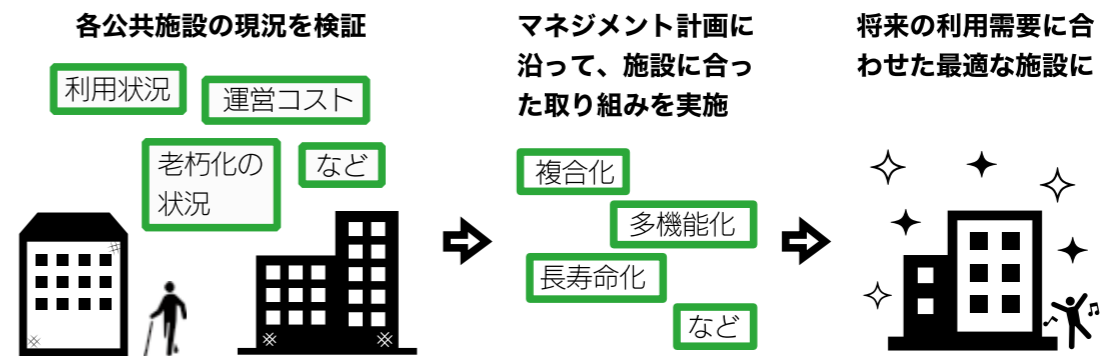
こうしたことから、今後の需要に応じた市民サービスをより良い形で提供できるよう必要な公共施設の最適化に取り組み、これらにかかる中長期的な経費を軽減・平準化するための基本的な方針や手法を示したものです。



◆削減量の目安と取り組みの手法について

本市の人口が、今後30年間で約18%減少すると推計されていることや、財政運営の視点による試算結果から、30年後の公共施設の総量(延床面積)は現在の約15～20%の削減を目安として決めました。

取り組みの手法については、単に面積を減らすのではなく、築年数や利用者数など施設の現況に合わせて異なる用途の施設を1つにまとめることや、1室1機能に限定せず活用する「複合化」「多機能化」や、施設の劣化が著しくなる前に手を加えることで長期間使用を可能とする「長寿命化」など、様々な手法を用いて公共施設の最適化に取り組みます。



◆2015年にオープンした「くるら戸田」は複合化、多機能化の一例です

「くるら戸田」は戸田地区に点在していた旧戸田庁舎、温泉施設、高齢者施設などを1つにまとめ、商業機能を付加した「道の駅」として整備され、世代を問わず親しまれています。



今後、この公共施設マネジメント計画に基づき、各公共施設の個別計画を定め、最適化に取り組んでいきますので、市民の皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。計画の詳細は、市ホームページをご覧ください。

資産活用課

055-934-4884